

ザリガニりぼんちゃんの研究

2024.7 月組

4月から保育室にいたザリガニ。みんなでリボンちゃんと名前を付けたものの、最初はそこまで興味を持つ姿はありませんでした。6月のある日、「ざりがにのあかくん」という絵本の中に「ザリガニのひげ」という言葉が出てくると、子ども達の中から「ザリガニにひげ??」と疑問の声があがりました。お父さんの髭を想像したようで、ハテナが浮かんでいる様子の子も達。ザリガニのひげって何だろう?という疑問からリボンちゃんの研究が始まりました。

図鑑を見てみると、ひげはどうやら触覚のことだったようです。「ひげって触覚のことか!」「敵や食べ物をみつける場所なんだね!」と興味津々で実際にリボンちゃんを観察する様子。そしてどんどん読み進めるとザリガニが食べるものが載っているページがあり、「ほんとに食べるのかな?」「ザリガニのエサしかあげたことないね」「試してみようよ!」ということでリボンちゃんに色々な物をあげてみることにしました。

実験1回目 リボンちゃんはパンは好き?



触角で見つけたんだよ!

食パンをあげて、食べるか食べないか実験!「絵本に載ってるから食べるに決まってる!」という声が多く、実際にあげてみると、すぐに「食べた!」と水槽を見る子ども達でした。



ニオイを嗅いで取ったんだよ!

目で見てわかったんじゃない?

違うものもあげてみたい!

実験2回目 ほうれん草は食べるのか・・・？

食べたことがないから怖くて食べないんじゃない？

絵本に載ってるから食べると思う！

頑張ってチャレンジするんじゃないかな？

給食もチャレンジしてみるもんね！

口に入れても苦くて吐き出すと思う！

色々な子ども達の予想が上がる中、実験スタート！



「あ！食べた！」「触角がたくさん動いているよ」などなど、前回とは違うことに気付いた子ども達。興味がどんどん深まっているようで、よく観察しているからこそその気付きが沢山あります。「絵本にないものをあげたいな」という声もあり、枝豆、パプリカ、スイカ、きゅうりなどたくさんの食べ物をあげ、実験を進めていきました。

4月のはじめは部屋にただいるだけの存在だったザリガニのリボンちゃん。ですが、小さな疑問をきっかけに子ども達の興味や関心がどんどんリボンちゃんに向かっていきました。実験をする中で、ただ食べ物をあげるだけではなく、「どうなると思う？」「食べるかな？食べないかな？」「何でそう思うの？」と子ども達と一緒に予想し話し合ってみる、という時間も沢山取り入れてみました。「頑張ってチャレンジする」「渋くて食べない」など子ども達からの回答はとても柔軟で自由に面白くりボンちゃんの気持ちに寄り添ったものばかりで、私たちも驚くような声が多くありました。また実験進むにつれ、子ども達の着眼点も「食べた・食べない」にとどまらず、どうやって食べているのかをよく観察し「歯はないけど、何かが回転してガリガリ削っているみたい！」「口の中にもハサミみたいな所があった！」「大きいハサミの後ろにある小さいハサミを使って持ってる！」等新たな気付きも沢山生まれています。リボンちゃんとの関わりを通して、よく観察し、考えたり、試してみたりすることの楽しさに気付いてきた子ども達。2学期はどんな気付きや発見が生まれるのか楽しみです。引き続き子ども達の「なんでだろう」「こうなんじゃないかな」という声を大切にしていきたいと思っています。

